

市長
コラム

てっちゃんの ひとりごと

このコーナーでは、小林哲也市長が日々感じている思いや出来事などを隔月連載でお伝えしています。

「〇〇の荻野吟子さん^{おぎのぎんこ}」

私は「熊谷市の横顔を市外の皆さんに少しでも知っていただく」という思いから、昨年の秋に名刺を写真入りのものに変更しました。そして、表には「埼玉三偉人^{*}」の一人、日本最初の女性医師である「荻野吟子さん」を載せさせていただきました。（※埼玉三偉人：塙保己一^{はなわ まいち}、渋沢栄一^{しぶさわえいいち}、荻野吟子のこと）



ある時、市内の方にこの名刺を差し出したところ、「あっ！妻沼の荻野吟子さんだ」というお言葉をいただきました。荻野吟子さんのことをご存じでうれしく思ったのですが、ちょっとだけ違和感？を覚えたのが「妻沼の」というところでした。

もちろん間違いではありませんし、妻沼地域はとてもすばらしい地域です。とは言え、熊谷市は平成の市町合併により大きな市とな

り、既に17年という時間が経過したことを考えると、荻野吟子さんも「熊谷の荻野吟子さん」になってほしいと思っています。

そんな時、男女共同参画室（ティアラ21 4階）に設置されていた荻野吟子さんの銅像を発見。もっと皆さんの目に付く場所で、もっと市民の皆様にあ愛していただきたいと思い、昨年の12月に市役所1階のエレベーターホール前に移設させていただきました。ぜひ、市民の皆様にご覧いただくとともに、親しみを持って「熊谷の荻野吟子さん」になっていただきたいと思います。きっとその頃には、より自信と誇りに満ちた熊谷市になっていることでしょう。

